

介護保険事業計画部会 報告

(1) 検討項目

第9期介護保険事業計画における介護サービスの利用量見込など、次の事項について検討を行った。

- ① 高齢者数・要介護認定者数の推計について
- ② 日常生活圏域について
- ③ 介護サービスの基盤整備について
- ④ 介護サービスの利用量の推計について
- ⑤ 地域支援事業の量の推計について
- ⑥ 市町村特別給付等について

(2) 検討経過

福岡市保健福祉審議会高齢者保健福祉専門分科会長が指名する7名の部会委員で、令和5年6月9日から4回にわたり部会を開催し、上記(1)の検討項目について、以下のとおり検討を行った。

開催日	検討項目
第1回 令和5年6月9日	1) 部会長、副部会長の選出について 2) 介護保険事業計画部会の審議事項について 3) 福岡市の介護保険制度の現状について 4) 被保険者数、要介護認定者数の推計について 5) 日常生活圏域について 6) 介護サービス基盤の整備量について
第2回 令和5年6月29日	1) 令和5年度介護保険法改正について 2) 介護サービスの利用状況について 3) 第9期介護保険事業計画における介護サービス必要量の推計について 4) 介護サービス基盤の整備量について
第3回 令和5年7月21日	1) 地域支援事業について
第4回 令和5年8月23日	1) 市町村特別給付等について 2) 2040年度(令和22年度)における介護サービス必要量及び地域支援事業の推計について 3) 介護サービスの基盤整備(介護医療院)について

(3) 検討概要

① 高齢者数・要介護認定者数の推計

ア 「住民基本台帳に基づく人口」をもとに、コーホート要因法を用いて、第9期介護保険事業計画期間（令和6年度から8年度）及び令和22年度における高齢者数（被保険者数）を以下のとおり推計した。

	R 4		R 6	R 7	R 8		R 22
高齢者数（人）	350,475	⇒	361,900	367,900	373,500	⇒	481,700
高齢化率	22.2%		22.7%	23.0%	23.3%		29.5%

イ アの高齢者数や過去の認定率の推移から推計した認定率を基に、第9期介護保険事業計画期間及び令和22年度における要介護認定者数を以下のとおり推計した。

	R 4		R 6	R 7	R 8		R 22
要介護認定者数（人）	71,730	⇒	75,720	77,600	79,540	⇒	119,030
認定率	20.5%		20.9%	21.1%	21.3%		24.7%

② 日常生活圏域の設定

国における日常生活圏域の設定方針を確認し、中学校区単位を基本としつつ、地域包括支援センターの圏域を考慮して設定した現行計画の59圏域を引き継ぐこととした。

③ 介護サービスの基盤整備

第8期計画に引き続き、

- 《1》 在宅生活を支えるサービスの拡充
- 《2》 住み慣れた地域で住み替えができる小規模施設の拡充
- 《3》 入所・居住系ニーズを担保する施設サービスの整備

という整備方針に基づき、整備を進めることとした。

④ 介護サービスの利用量の推計

①の要介護認定者数を基に、介護サービスの利用状況、介護サービスの整備目標量などを勘案し、各年度におけるサービスごとの利用量を見込んだ。

なお、サービス必要量を確保するには、訪問介護員などの福祉・介護人材の確保が重要である。

⑤ 地域支援事業の量の推計

地域支援事業のこれまでの実施状況や今後の高齢者数の伸びなどから、各年度における事業ごとの利用量を見込んだ。

⑥ 市町村特別給付等

第1号被保険者の保険料のみを財源として、市町村特別給付・保健福祉事業として実施することができる要介護者等への支援事業や家族介護者への支援事業については、第8期計画と同様に、地域支援事業及び一般施策で行っている高齢者保健福祉事業として実施していくこととした。

【介護保険事業計画部会委員名簿】

団 体 名 等	氏 名	備 考
被保険者代表（第1号）	秋田 智子	
弁護士	岩城 和代	
久留米大学	鬼崎 信好	◎部会長
公益社団法人福岡県介護支援専門員協会	柴口 里則	
被保険者代表（第2号）	田川 布美子	
福岡市認知症フレンドリーセンター長	党 一浩	
福岡市介護保険事業者協議会	渡邊 恭順	◎副部会長

(敬称略・五十音順)